

令和 6 年（2024 年）12 月 18 日
午後 2 時 ～ 午後 3 時
於：高層棟 4 階 特別会議室
都市計画部 計画調整室
土木部 道路室
公園みどり室
健康医療部 健康まちづくり室

令和 6 年度 第 7 回政策調整会議
J R 吹田駅北側における東西交通機能確保に向けた市道朝日が丘
町 12 号線及び片山町 21 号線の拡幅整備について

地域課題の効果的かつ早期の解決に向け、市が主体となり市道朝日が丘町 12 号線及び片山町 21 号線（以下「対象路線」という。）の拡幅整備を進める方向性を確認するものです。

1 概要及び経過（【資料 2】参照）

（1）目的

片山町 2 丁目及び朝日が丘町周辺（以下「J R 吹田駅北側」という。）について、これまでから市道朝日が丘片山線（以下「片山坂」という。）に至る西から東向きへは、車両が通行できない状態にあり、また府道大阪高槻京都線片山町 2 丁目東交差点の慢性的な渋滞により、市道片山町 21 号線は抜け道として利用され、当該道路は交通量も多く十分な歩道も確保できていない状況となっております。地域の関係団体からは、東西に接続する交通機能を確保するよう要望書が提出されており、東西交通機能の確保が求められています。

なお、都市計画道路千里丘豊津線のうち片山坂から豊津駅付近までの区間について、地形的な諸課題から事業の実施が困難との判断により都市計画変更（廃止）した際、都市計画審議会（平成 25 年（2013 年）7 月 9 日）において東西の交通ネットワークを補完する道路整備の必要性が挙げられています。

（2）これまでの検討経過

J R 吹田駅北側における、大学や商業施設の進出、市民病院の移転といった土地利用動向を踏まえたまちづくりを検討する中で、片山坂と市道片山町 31 号線とを東西に結ぶ道路（以下「東西道路」という。）の整備に係る基礎的検討等を行ってきました。当時は、対象路線の拡幅整備に関する諸課題における最大の懸案事項が用地買収となっていました。そのため、東西道路の整備を早期に実現するためには、用地買収が不要となる旧吹田市民病院跡地を活用した整備が合理的として、平成 30 年度（2018 年度）の政策会議において、「旧吹田市民病院跡地売却公募の基本条件」の一つに、買受者による幅員 9 m 以上の道路の整備及び市への移管を盛り込み、跡地整備と併せ東西道路の整備を行うことを確認しました。しかし、これまでに行った 2 回の旧吹田市民病院跡地売却公募は事業者決定に至っておらず、東西道路の交通機能は未だ確保できておりません。

(3) 今回確認する方向性について

対象路線の拡幅整備は、道路整備用地の取得が必要となるものの、東西道路として望ましい線形や構造となることからその実現性について、これまで旧吹田市民病院跡地売却公募の状況を注視しつつ、関係者との協議調整に取り組んできたところです。

このような状況の中で、最大の懸案事項であった用地の確保について、関係権利者と精力的に協議を重ねてきた結果、用地取得への協力が得られる見込みがついたことから、改めて検討することとしました。

今般、対象路線の拡幅整備に係る技術的検討と関係権利者・交通管理者・道路管理者との協議を経て、一定の実現性が確認できたため、地域課題の効果的かつ早期の解決に向け、市が主体となり、対象路線の拡幅整備を進めることを確認するものです。

2 対象路線の拡幅整備案及び効果

(1) 拡幅整備案

対象路線（延長約 200m）について、一方通行 1 車線及び片側歩道で構成する全幅約 6 ～ 8 m の道路を、対面通行 2 車線及び両側歩道で構成する全幅約 12m に拡幅整備します。

整備にあたっては、民間から取得する用地のほか、公有地（こども発達支援センター及び朝日が丘南遊園）の一部用地を使用します。

民間からの用地取得にあたっては、当該地にある駐車場の機能補償が求められており、旧吹田市民病院跡地の一部用地等を候補として代替駐車場用地を購入した上で、民間から取得する用地と交換します。

また、東西道路の整備に伴う旧吹田市民病院跡地売却公募の基本条件（買受者による幅員 9 m 以上の道路の整備及び市への移管）の見直しに向け、今後、（地独）市立吹田市民病院と調整します。

(2) 効果

- ア 両側歩道の設置による歩行者の安全性の向上
- イ 高低差が小さく直線的な道路の実現
- ウ 交通ネットワークの形成と周辺道路の混雑緩和への寄与
- エ 道路の拡幅による延焼防止や避難経路の確保等による防災性の向上
- オ 旧吹田市民病院跡地売却公募に影響されず、片山坂と市道片山町 31 号線とを東西に接続する相互交通機能の早期実現

3 スケジュール（案）及び概算事業費

年度	主な内容（対象室課）	概算事業費※1（千円） （うち、国費※2）
令和7年度 （2025年度）	道路詳細設計業務（道路室）	21,260
	用地取得及び関連業務（計画調整室）	218,788
	旧吹田市民病院跡地売却公募の基本条件の見直し に向けた調整（健康まちづくり室）	—
令和8年度※3 （2026年度）	道路整備工事（道路室）	50,000 (22,500)
令和9年度 （2027年度）	道路整備工事（道路室）	100,000 (50,000)
合計		390,048 (72,500)

※1 事業費については、令和7年度予算査定や令和7年度の道路詳細設計業務等の進捗を見て精査します。

※2 都市構造再編集中支援事業交付金等の活用を検討します。

※3 旧吹田市民病院跡地売却予定